

フォーラム

がんと生きる

～寄り添う医療で暮らしを支える～

「がん」になっても、これまでの暮らしをあきらめない、自分らしく生き抜く。

「がん」の治療、予後が大きく変わろうとしています。

完治を目指す治療がある一方で、たとえ再発や転移をしても、「がん」によって生じる“様々な痛み”をできるだけ減らしていく治療やケアが始まっています。

「支持療法」「緩和ケア」などを診断直後から取り入れる事で、がん治療そのものに効果があるといわれています。

フォーラムでは、日々進化するがん治療と副作用への対処法など、最新の医療情報とともに、本人に寄り添う支援のありようについて、医療従事者、当事者の方が語り合います。



参加募集中

イラスト/マユシユル

日時：2013年 **2月24日(日)**

開場：午後1時 開演：午後1時30分 終演：午後4時(予定)
※途中休憩あり

会場：**アクロス福岡 イベントホール**

住所：福岡県福岡市中央区天神1-1-1

定員：**650名** **参加無料** 事前申し込みが必要です。
お申し込み方法は裏面をご覧ください。

- 交通
- 天神大牟田線「西鉄福岡(天神)駅」より徒歩10分
 - 地下鉄空港線「天神駅」東口より徒歩3分
 - 西鉄バス「市役所北口」停留所下車すぐ など
- ※公共交通機関をご利用ください。



パネリストプロフィール

第1部

前原 喜彦

まえはら よしひこ

九州大学大学院 消化器・総合外科 教授

九州大学医学部卒業。同大学附属病院の消化器外科医としてがん医療の最前線を担ってきた。がんの特性を知り、外科手術や薬物治療の最新の知識に基づき、患者さん一人一人の思いに寄り添った適切な治療とともに、緩和ケアの早期導入による治療効果の研究などにも尽力している。次代を担う合理性の高い外科医の育成と、より質の高いがん医療の実践に力を注いでいる。

延 哲也

のぶ てつや

久留米大学病院 小児がん経験者の会 Smile Days 代表

1984年、13歳の時急性骨髄性白血病を発病。約2年半の化学治療で治癒。大学卒業後、西日本短期大学附属高等学校に勤務。2009年、直腸がんを発病し手術。1年半後再発、抗がん剤治療および粒子線治療を行ったが再々発。昨年12月再手術を行った。たとえ再発を繰り返しても明るく生きる事をモットーに、現在、地産・公民科の教員として教壇に立ち続けている。

第2部

調 憲

しらべ けん

九州大学大学院 消化器・総合外科 准教授

九州大学医学部を卒業後、同大学附属病院の臨床現場で一貫して外科治療にあたってきた。肝臓がん手術をはじめ肝移植にも多くの実績があり、中でも肝移植後のC型肝炎に対する薬物療法の研究などにも注目を集めている。2004年からは福岡市近郊の飯塚病院に勤務。がん拠点病院と地域の医療現場とをつなぐ活動にも力を注いでいる。

矢津 剛

やづ つよし

矢津内科消化器科クリニック 院長

1984年に長崎大学医学部を卒業後、九州大学第3内科などで内科・消化器科の医師として治療にあたり、1996年より現職。2000年、ニュージーランドのホスピス視察を機に、地元の実業家で在宅ホスピスの支援拠点「ひと息の村」を誕生させた。がんを抱えても自らの住み慣れた地域で、人とのつながりを大切にしながら生きていく為の医療とケアを実践している。

竹山 由子

たけやま ゆうこ

独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 相談支援部長

熊本県立公衆衛生看護学院を卒業し助産師として勤務。その後、看護師長として急性期などを経験し、2009年より九州がんセンター相談支援・情報センターに配属される。がん治療は患者さんにとって生きる希望であるが、逆に命を縮めてしまう時もある。がん相談員として、患者さんが最期をどう生きるのか、一緒に悩み、考え、自己決定できるよう支援していければと切に願う。

波多江 伸子

はたえ のぶこ

福岡がん患者団体ネットワーク「がん・バッチン・元気隊」代表

甲状腺がんと糖尿病の患者歴30年。患者の立場に立った医療倫理学を研究するとともに、患者支援や終末期ケアをライフワークとして執筆や講演・ボランティア活動を行っている。福岡がん患者団体ネットワーク「がん・バッチン・元気隊」を立ち上げ、がん患者のピアサポート講座を開くとともに、活動する患者でありたいと願っている。

コーディネーター

町永 俊雄

まちなが としお

元NHK福祉ネットワークキャスター

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーキャスターとして大震災の現実や認知症、高齢者のための情報を幅広い形で伝えている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき(単信)、FAX、メール(ホームページの申し込みフォームから)のいずれかに

1. 名前(必ず個人名を記入) 2. 郵便番号・住所 3. 電話番号 4. 参加人数

5. ご一緒に参加する方の名前(複数名の参加を希望される場合)

を書いて、お申し込みください。

お問い合わせ
お申し込み先

〒150-0047東京都渋谷区神山町4-14 第三共同ビル

NHKエンタープライズ「フォーラム がんと生きる係」

FAX 03-3481-2088 電話 03-3460-2045(平日午前10時～午後5時)

ホームページ <http://www.forum-nep.com/gan/>

※参加証(1枚で1人入場可)を2月中旬以降、順次、希望人数分を封書でお送りします。
※住所などに不備があると郵送できないため、郵便番号、ご住所は正確にご記入ください。
※個人情報厳重に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

下記欄にご記入の上、そのままファックスをお送りいただいても結構です。

**定員になり次第
締め切ります**

ふりがな	参加人数	< ご一緒に参加される方のお名前 >
名前 ※必ず個人名をご記入ください。	人	
住所 〒		
※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。		
電話番号		